

今週の見頃写真

9月9日編集

7月満水状態だった有峰ダム、9月に入り渇水状態になりました。北電記念館展望台や宝来島対岸から有峰湖を撮影しました。宝来島対岸からは湖底に沈んでいた立ち枯れた木々を眺望でき、絵画のような摩訶不思議な風景が広がっています。

□風景 1

○渇水期の有峰湖近影



北電記念館展望台より有峰湖を望む (9/8 撮影)



宝来島対岸より有峰湖を望む (9/8 撮影)



宝来島対岸より有峰湖を望む (9/6 撮影)



宝来島対岸より有峰湖を望む (9/6 撮影)



宝来島対岸より有峰湖を望む (9/6 撮影)



宝来島対岸より有峰湖を望む (9/6 撮影)



宝来島対岸より有峰湖を望む (9/8 撮影)

9/6 の撮影時と比較し湖が後退



宝来島対岸より有峰湖を望む (9/8 撮影)



宝来島対岸より有峰湖を望む (9/8 撮影)



宝来島対岸より有峰湖を望む (9/8 撮影)

○風景 2

○名峰薬師岳

標高 2926mの薬師岳は、剣岳、立山と並ぶ北アルプス立山連峰の名峰で、日本の百名山にも選定されています。有峰からは色々な場所から名峰薬師岳を望むことができます。初秋の薬師岳の山容を撮影しました。



東谷線より薬師岳を望む (9/7 撮影)

台風一過でフェーン現象時の薬師岳



小口川線より薬師岳を望む (9/7 撮影)

台風一過でフェーン現象時の薬師岳



祐延展望台より祐延ダムを望む (9/7 撮影)
台風一過でフェーン現象時の祐延ダム



猪根山遊歩道より薬師岳を望む (9/7 撮影)
台風一過でフェーン現象時の薬師岳



芝生広場より薬師岳を望む (9/8 撮影)



宝来島対岸より薬師岳を望む (9/8 撮影)

○動物編

○ニホンザル

9月に入り、ほぼ連日のように猪根平で縄張り（テリトリー）をもつニホンザルの群れが富山県有峰森林文化公園区域（エリア）内、特に自由広場（芝生広場）に出没しています。週末に比べ、平日、特に、ビジターセンターへの来館者が少ない9月7日（月）、この群れの滞在期間は3時間にも及びました。色々な生態写真を撮影することができましたので紹介します。やはり、先週（9月3日編集）の見頃写真でも報告したように滞在時間の大半が食事に費やされていました。母ザルが食事の時は、子ザルが傍らでじっとしています。群れの個体が食事中、リーダーは、ゆっくりと移動しながら、あらゆる方向から群れ全体を統率・見守り、警戒、時に食事の行動を取っていました。色々な行動を撮影することができました。



母子連れ の 2 ショット

（芝生広場にて9/6撮影）



母親の背中で転寝中の子ザル
(芝生広場にて 9/6 撮影)



アカツメクサを捕食中のニホンザル
(芝生広場にて 9/6 撮影)



通過中のトラックを眺めるニホンザルの母子
(折立線の道路沿いにて 9/6 撮影)



アカツメクサを捕食中のニホンザル
(芝生広場にて 9/6 撮影)



アカツメクサの葉を手練り寄せたニホンザル
(芝生広場にて 9/6 撮影)



「どれにしようかな？」品定め中のニホンザル
(芝生広場にて 9/6 撮影)



電気柵内でシロツメクサ捕食中のニホンザル
(芝生広場にて 9/6 撮影)



お気に入りの場所で食事中的ニホンザルの群れ
(芝生広場にて 9/6 撮影)

○錦鯉 (コイ科)

宝来島の対岸、小さな沢からの流れ込みには餌を求めてか鯉が集まってきていたので撮影しました。この錦鯉の体長、目測で 50 cm 程ありました。誰もいない有峰湖では色々な発見があります。



遊泳中の錦鯉 (宝来島対岸にて 9/6 撮影)

○昆虫編

○シロシタバ (ヤガ科シタバ亜科)

シタバガ (*Gatocala*) の仲間は、地味な前翅と派手な後翅をもっています。旧有峰ハウスの壁に静止しているところを撮影しました。擬態の名人で壁に擬態しています。近づくと鮮やかな白い後翅を見せて飛び立ちました。幼虫は、バラ科のサクラ類を食べます。有峰ではウワミズザクラが幼虫の主な食草と考えられています。成虫は灯火にも飛来します。



旧有峰ハウスの壁に下向きで静止中のシロシタバ
(9/6 撮影)

○植物編

○ツルウメモドキ (ニシキギ科)

有峰でも普通に見られるつる性の樹木です。秋になると黄色く色好きますが、まだ青い状態です。



ツルウメモドキ越しに有峰ハウスを望む (9/5 撮影)